

## 【第7回「新型コロナウイルス」についてのアンケート】 新型コロナウイルス感染症への札幌圏生活者の意識を調査 Go To キャンペーン、宅配サービスの利用状況も明らかに

マーケティングリサーチサイト「インサーチ (INSEARCH®)」にて実施いたしました「**新型コロナウイルス**」についてのアンケート結果をお知らせいたします。「インサーチ」は札幌市の広告会社である当社インサイトが「札幌の企業を元気にする」というキャッチフレーズで運営しております。

### TOPICS

#### <比較結果>

- 「マスク着用」、「小まめな手洗い」は高実施率。「人の多い場所を避ける」はダウン傾向。
- 感染拡大すると「思う」の割合は前回よりも約5ポイントダウン。(91.0%→85.0%)
- 「不安・心配である」の割合も徐々にポイントダウン。(87.2%→83.4%→80.8%)
- 勤務先での対策は「体温計での体温測定」がアップ。「自宅でリモートワーク」はダウン傾向。

#### <今回>

- 自粛していることは70歳以上で全体より高い項目が目立っている。
- 9割弱がこの先も拡大すると思うと回答。
- 北海道スタイルの実践では、「小まめな手洗い」が約83%。
- 約6割が飲食店の北海道スタイルの実践を「気にしている」と回答。
- 「Go To トラベル」は約96%、「Go To Eat」は約58%の認知率。
- 約22%が「Go To トラベル」をすでに「利用した」と回答。
- 約40%がいずれかのプレミアム商品券やCFを「利用した」と回答。
- 宅配サービスの利用はいずれのサービスも10%に届かず。

### <調査項目> ★…本レポート掲載 ※…過去調査と比較

- ★※「新型コロナウイルス感染症」対策 (基本属性)
- ★※「新型コロナウイルス感染症」で自粛したこと ・性別
- ★※勤め先での対策 ・年代
- ★※「新型コロナウイルス感染症」の今後の拡大 ・職業
- ★※「新型コロナウイルス感染症」への不安・心配 ・同居家族構成
- ★「新型コロナウイルス感染症」で不安・心配なこと ・お住まいの地区
- ★※北海道スタイルの実践 ・普段見聞きしているもの
- ★飲食店の北海道スタイル実践の影響 ・利用しているSNS
- ★Go To キャンペーンの認知/利用意向
- ★Go To トラベル利用経験/利用金額
- ★プレミアム商品券の購入
- ★宅配サービスの利用

### 調査概要

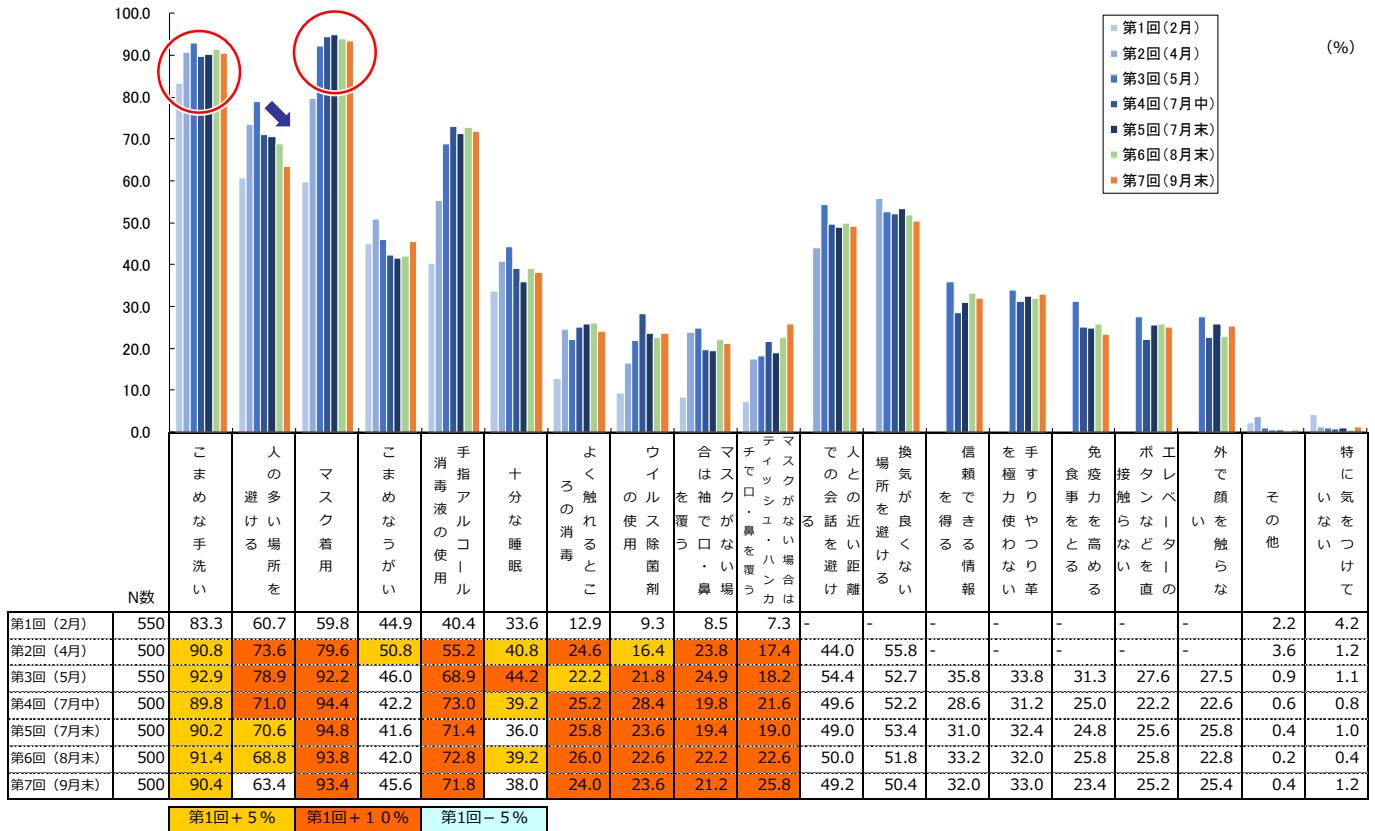
- 調査目的： 「新型コロナウイルス」への意識についての話題提供、第1回～第6回調査からの変化の把握
- 調査方法： インサーチモニターを対象としたインターネット調査
- 分析対象者： 札幌圏内在住の18歳以上の男女
- 調査実施期間： 2020年9月25日(金)～9月30日(水)
- 第1回： 2020年2月20日(木)～2月23日(日)
- 第2回： 2020年4月1日(木)～4月2日(金)
- 第3回： 2020年5月8日(金)～5月13日(水)
- 第4回： 2020年7月13日(月)～7月19日(日)
- 第5回： 2020年7月27日(月)～8月2日(日)
- 第6回： 2020年8月21日(金)～8月27日(木)
- 有効回答者数： N=500
- 実施機関： 株式会社インサイト

全体	500名	100%
男性	250名	50%
女性	250名	50%
	全体	全体(%)
計	500名	100%
39歳以下	53名	10.6%
40-49歳	92名	18.4%
50-59歳	140名	28.0%
60-69歳	139名	27.8%
70歳以上	76名	15.2%

「新型コロナウイルス感染症」対策

Q. あなたが「新型コロナウイルス感染症」対策で気をつけていることは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

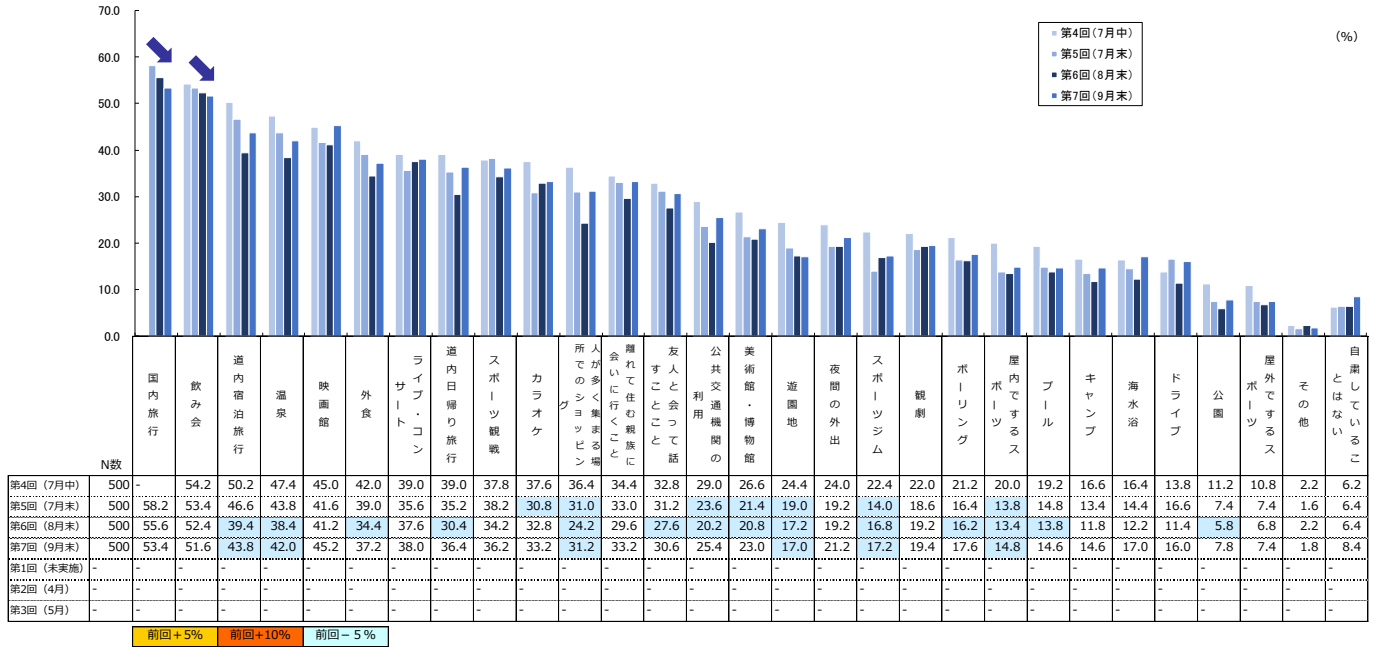
「こまめな手洗い」は第1回から実施率が高く、横ばい。  
「マスク着用」は前回に続き、最も高い実施率となっている。  
「人の多い場所を避ける」は第3回以降ダウン傾向にある。



「新型コロナウイルス感染症」で自粛したこと

Q. あなたは「新型コロナウイルス感染症」の状況を受けて現在自粛していることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

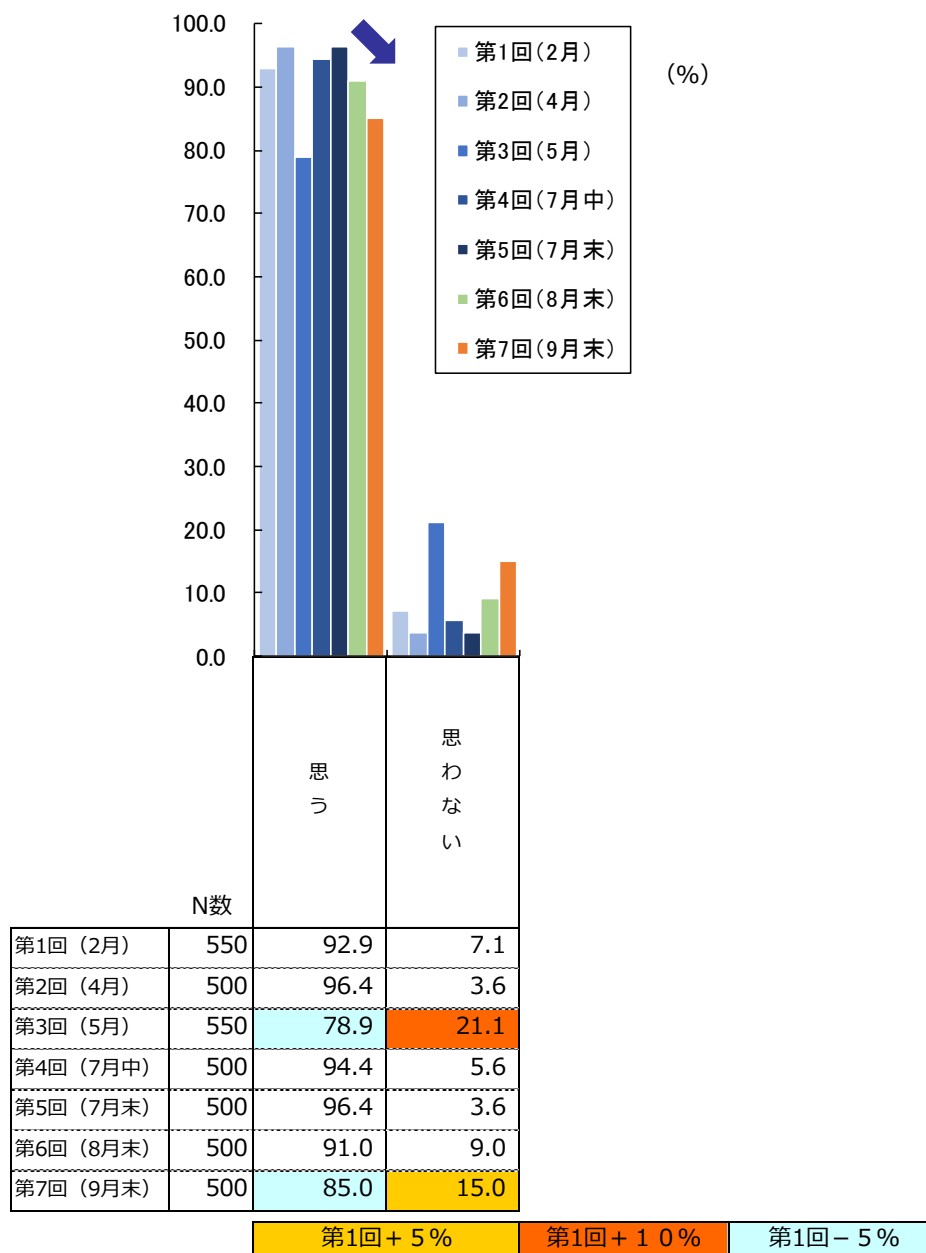
多くの項目で第4回よりはダウン傾向にある。  
「国内旅行」、「飲み会」は徐々にその割合が低くなっている。



# 「新型コロナウイルス感染症」今後の拡大

Q. あなたはこの先「新型コロナウイルス感染症」はまだ拡大すると思いますか。

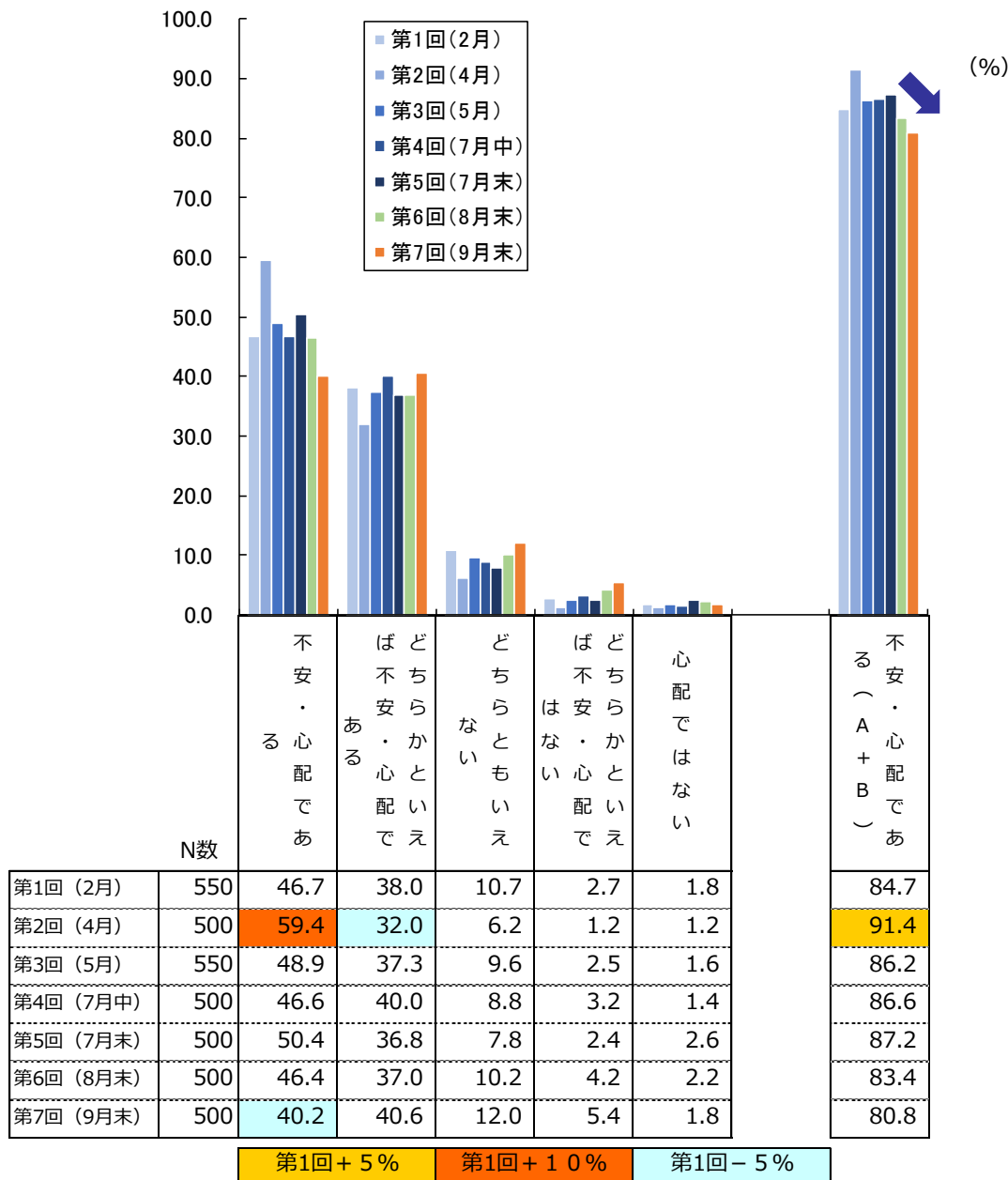
「思う」が前回の91.0から5ポイント以上ダウンし、85.0%となった。  
第5回(7月末)からダウン傾向にある。



# 「新型コロナウイルス感染症」への不安・心配

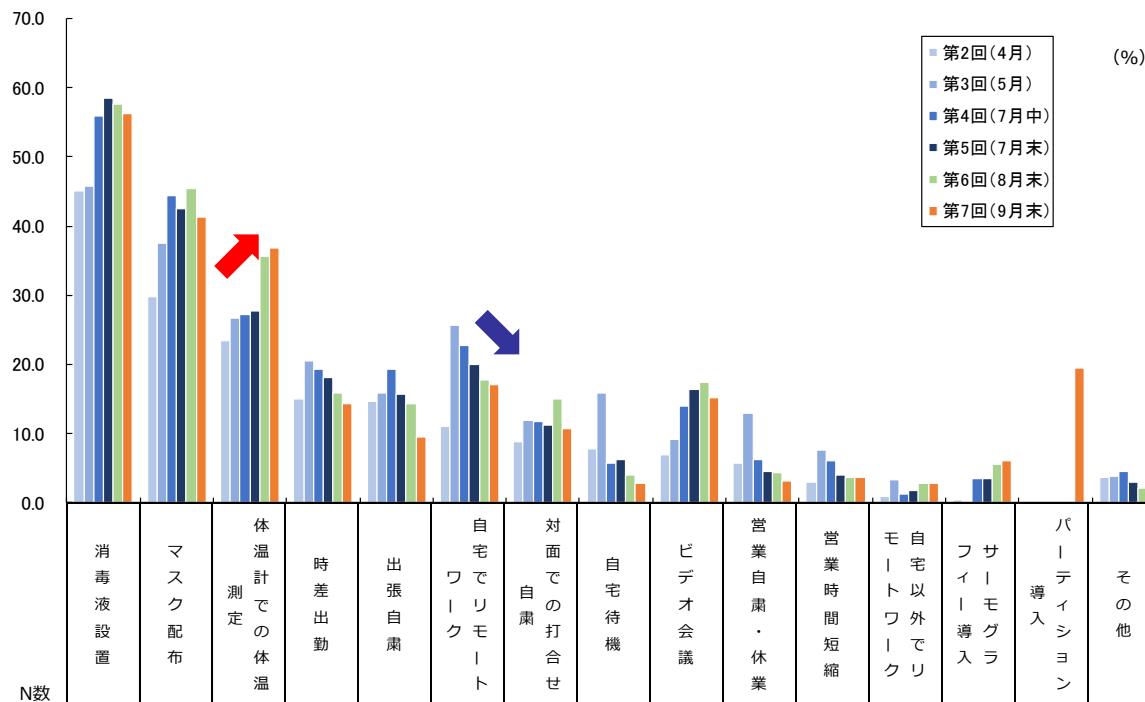
Q. あなたは「新型コロナウイルス感染症」が拡大している状況を受けて、不安・心配ですか。

「不安・心配である」という割合は、前回からさらにポイントダウン。  
依然として、「不安・心配である」(合算)は8割であるが、第5回からダウン傾向にある。



Q. あなたの勤務先・通学先ではどのような対策をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

「体温計での体温測定」が前回に続き、ポイントアップ。  
「自宅でリモートワーク」は第3回以降ダウン傾向、「ビデオ会議」は前回までアップ傾向だったが今回はダウン、通常のオフィス勤務に戻りつつあると考えられる。

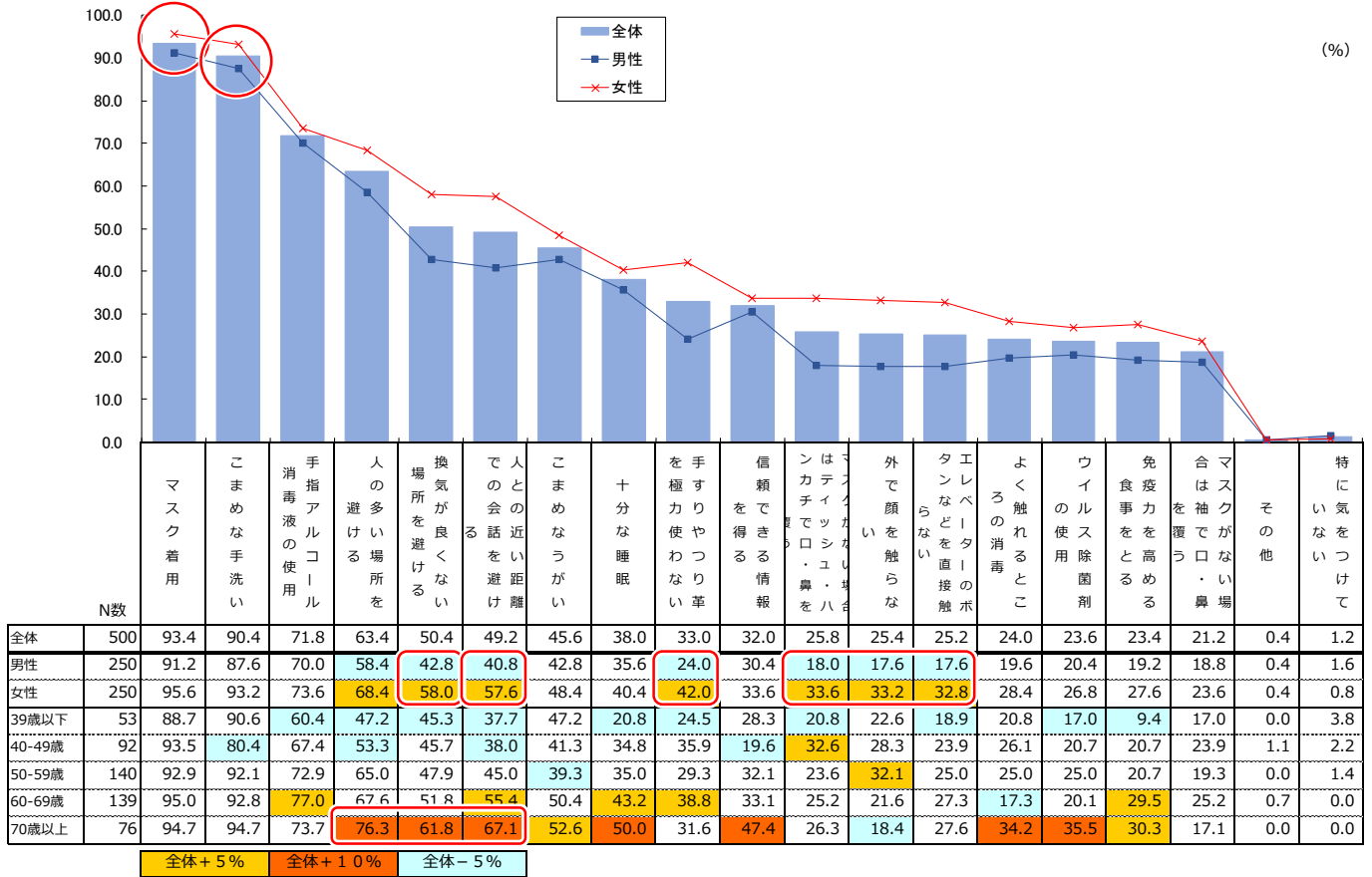


調査回	N数	消毒液設置	マスク配布	体温計での体温測定	時差出勤	出張自粛	自宅でリモートワーク	対面での打合せ自粛	自宅待機	ビデオ会議	営業自粛・休業	営業時間短縮	モートワーク以外でリモートワーク	ファイモグラ導入	パーティション導入	その他	特に対策はしてない
第2回(4月)	333	45.0	29.7	23.4	15.0	14.7	11.1	8.7	7.8	6.9	5.7	3.0	0.9	0.3	-	3.6	19.8
第3回(5月)	371	45.8	37.5	26.7	20.5	15.9	25.6	11.9	15.9	9.2	12.9	7.5	3.2	0.3	-	3.8	12.9
第4回(7月中)	352	56.0	44.3	27.3	19.3	19.3	22.7	11.6	5.7	13.9	6.3	6.0	1.1	3.4	-	4.5	13.6
第5回(7月末)	350	58.6	42.6	27.7	18.0	15.7	20.0	11.1	6.3	16.3	4.6	4.0	1.7	3.4	-	2.9	15.1
第6回(8月末)	328	57.6	45.4	35.7	15.9	14.3	17.7	14.9	4.0	17.4	4.3	3.7	2.7	5.5	-	2.1	14.3
第7回(9月末)	329	56.2	41.3	36.8	14.3	9.4	17.0	10.6	2.7	15.2	3.0	3.6	2.7	6.1	19.5	1.8	14.9
第1回(未実施)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

前回+5%    前回+10%    前回-5%

Q. あなたが「新型コロナウイルス感染症」対策で気をつけていることは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

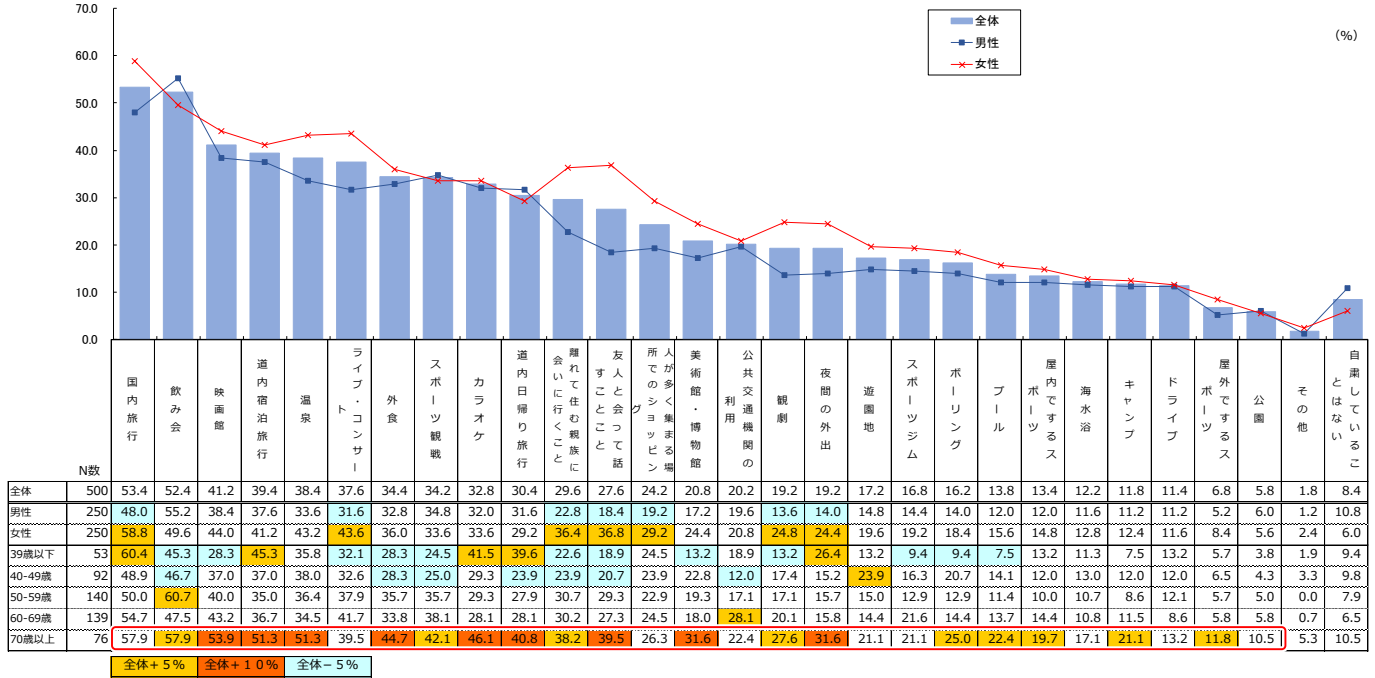
「マスク着用」、「こまめな手洗い」が9割以上と高いポイントとなっている。  
「換気の良くない場所を避ける」など多くの項目で男性より女性が10ポイント以上高い。  
70歳以上ではいわゆる「3密」に気を配っている傾向がうかがえる。



# 「新型コロナウイルス感染症」で自粛したこと

Q. あなたは「新型コロナウイルス感染症」の状況を受けて現在自粛していることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

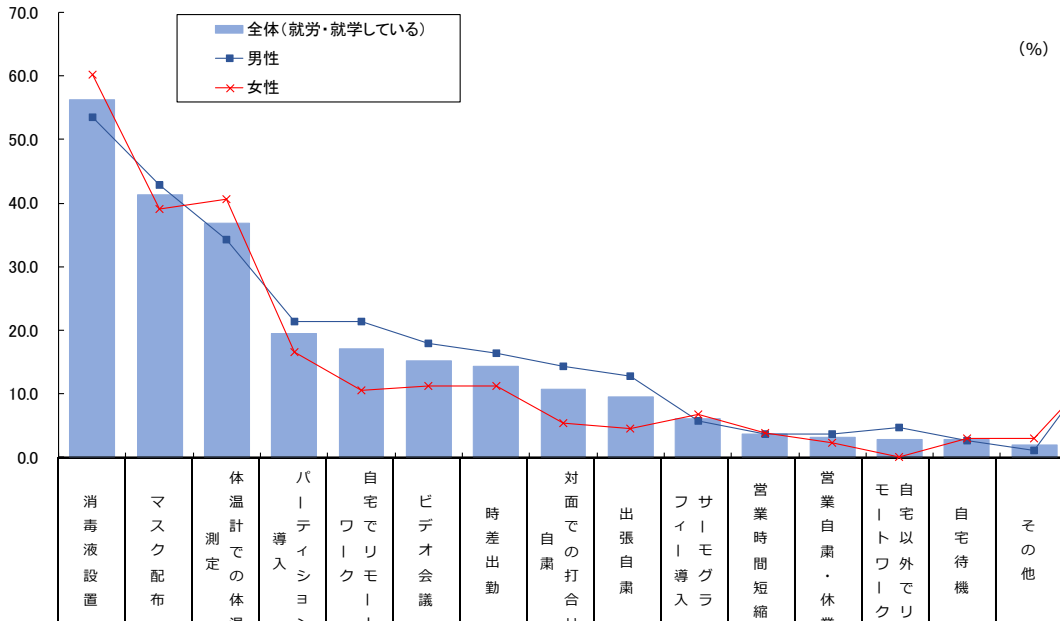
「国内旅行」が最も高くなっている。次いで、「飲み会」となっている。1位2位項目は、男性では逆となっていて、「飲み会」が最も高い。  
年代別で見ると、70歳以上で全体より高い項目が多く、自粛していることが多い。





Q. あなたの勤務先・通学先ではどのような対策をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

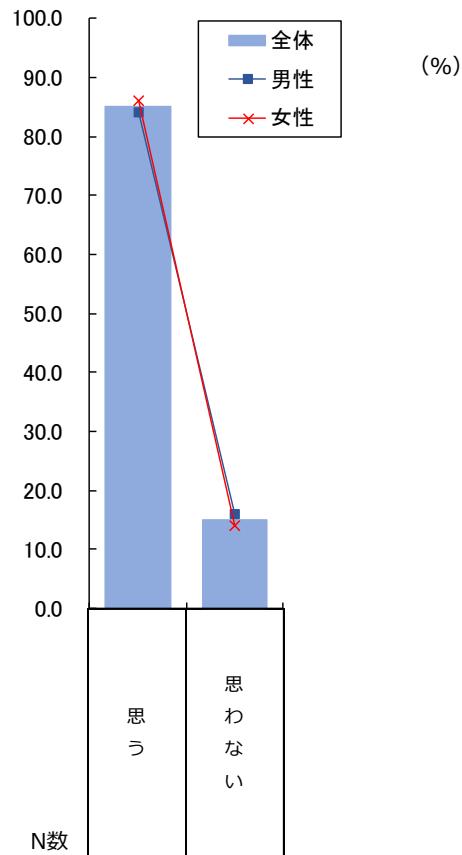
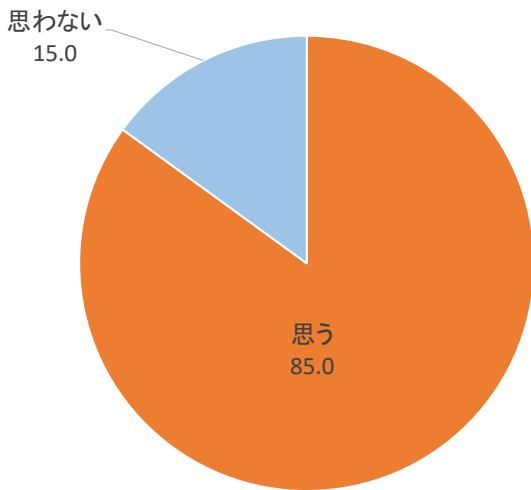
「消毒液設置」が6割弱と最も高い。ついで「マスク配布」が4割強となっている。  
「体温計での体温測定」も4割弱となっている。



N数	消毒液設置	マスク配布	体温計での体温測定	パーテーション導入	自宅でのリモート	ビデオ会議	時差出勤	対面での打合せ自粛	出張自粛	ファームグラ導入	営業時間短縮	営業自粛・休業	自宅以外でリモートワーク	自宅待機	その他	特に対策はしていない	
全体(就労・就学している)	329	56.2	41.3	36.8	19.5	17.0	15.2	14.3	10.6	9.4	6.1	3.6	3.0	2.7	2.7	1.8	14.9
男性	196	53.6	42.9	34.2	21.4	21.4	17.9	16.3	14.3	12.8	5.6	3.6	3.6	4.6	2.6	1.0	15.3
女性	133	60.2	39.1	40.6	16.5	10.5	11.3	11.3	5.3	4.5	6.8	3.8	2.3	0.0	3.0	3.0	14.3
39歳以下	41	48.8	46.3	31.7	17.1	22.0	19.5	7.3	4.9	2.4	4.9	2.4	2.4	2.4	0.0	4.9	14.6
40-49歳	75	54.7	34.7	42.7	25.3	18.7	17.3	20.0	16.0	13.3	9.3	2.7	1.3	6.7	2.7	4.0	17.3
50-59歳	119	60.5	38.7	39.5	21.0	19.3	20.2	17.6	14.3	10.9	5.0	4.2	1.7	1.7	3.4	0.8	16.0
60-69歳	77	54.5	49.4	31.2	15.6	10.4	6.5	9.1	3.9	6.5	6.5	2.6	2.6	1.3	3.9	0.0	11.7
70歳以上	17	58.8	41.2	29.4	5.9	11.8	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	11.8	23.5	0.0	0.0	0.0	11.8
		全体+5%	全体+10%	全体-5%													

Q. あなたはこの先「新型コロナウイルス感染症」はまだ拡大すると思いますか。

この先も「新型コロナウイルス感染症」が拡大すると思う方は9割弱となっている。  
性別・年代別で大きな差はない。



	N数	
	思う	思わない
全体	500	85.0
男性	250	84.0
女性	250	86.0
39歳以下	53	81.1
40-49歳	92	83.7
50-59歳	140	84.3
60-69歳	139	87.8
70歳以上	76	85.5

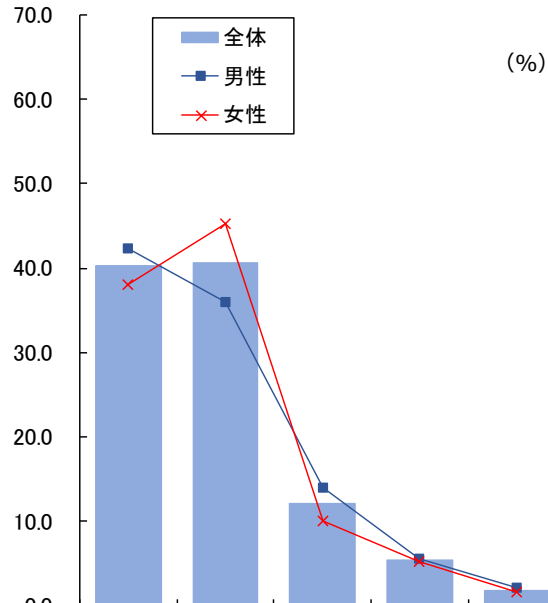
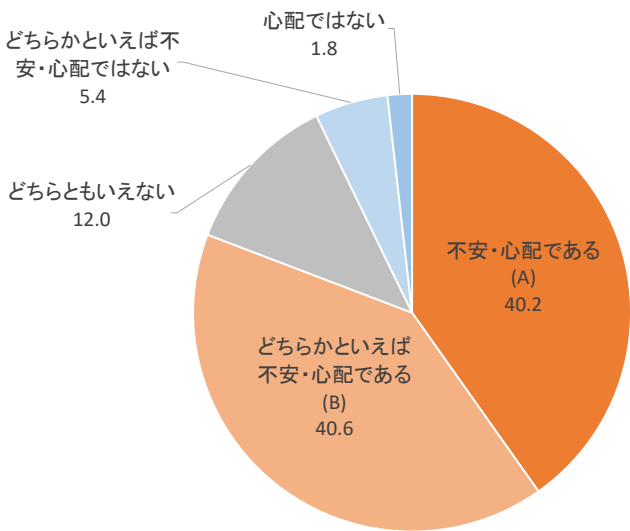
全体 + 5%

全体 + 10%

全体 - 5%

Q. あなたは「新型コロナウイルス感染症」が拡大している状況を受けて、不安・心配ですか。

「不安・心配である」が約4割、「どちらかといえば不安・心配である」も約4割で、あわせて約8割となっています。  
年代別に見ると、39歳以下、40-49歳では「不安・心配である(合算)」の割合が8割を下回っている。

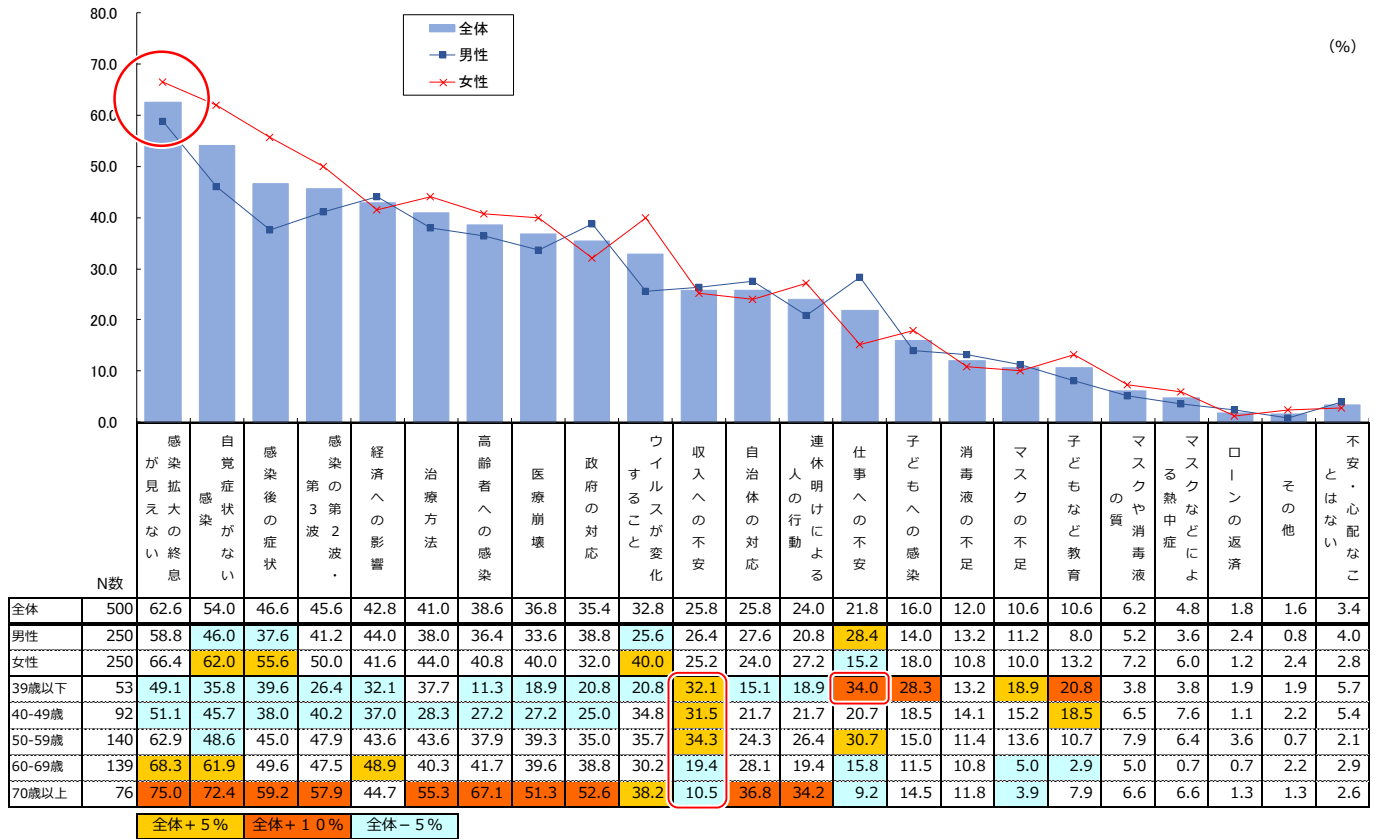


N数	不安・心配である (A) + どちらかといえば不安・心配である (B)					不安・心配である (A + B)	
	不安・心配である (A)	どちらかといえば不安・心配である (B)	どちらかといえば不安・心配ではない	不安・心配ではない	心配ではない		
全体	500	40.2	40.6	12.0	5.4	1.8	80.8
男性	250	42.4	36.0	14.0	5.6	2.0	78.4
女性	250	38.0	45.2	10.0	5.2	1.6	83.2
39歳以下	53	30.2	41.5	13.2	11.3	3.8	71.7
40-49歳	92	35.9	39.1	14.1	7.6	3.3	75.0
50-59歳	140	51.4	31.4	11.4	4.3	1.4	82.9
60-69歳	139	32.4	52.5	10.1	3.6	1.4	84.9
70歳以上	76	46.1	36.8	13.2	3.9	0.0	82.9

全体 + 5%      全体 + 10%      全体 - 5%

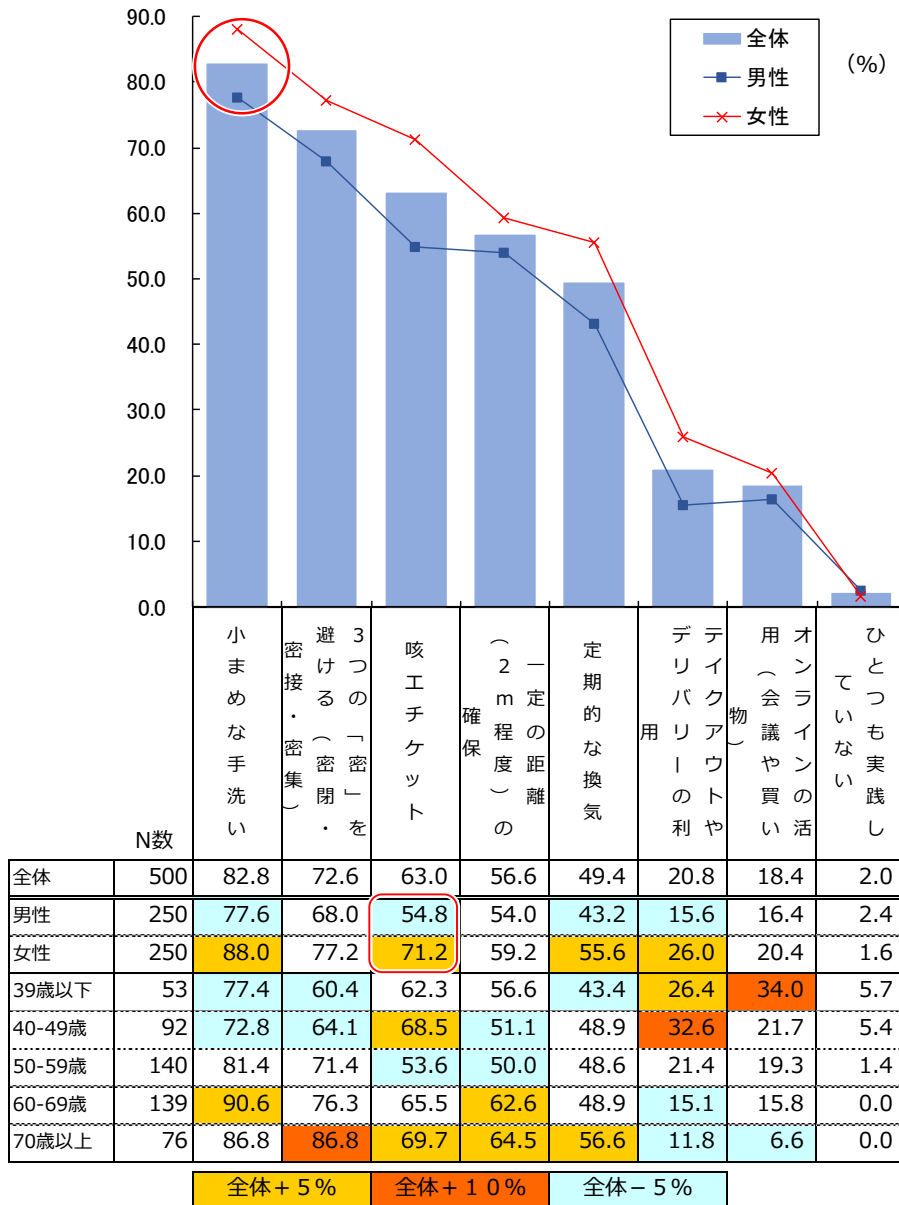
Q. あなたが「新型コロナウイルス感染症」について不安・心配なことは何ですか。

「感染拡大の終息が見えない」が6割強で最も多く、次に「自覚症状がない感染」となっている。年代別では、39歳以下で「仕事への不安」、50代以下で「収入への不安」が全体よりもポイントが高くなっている。



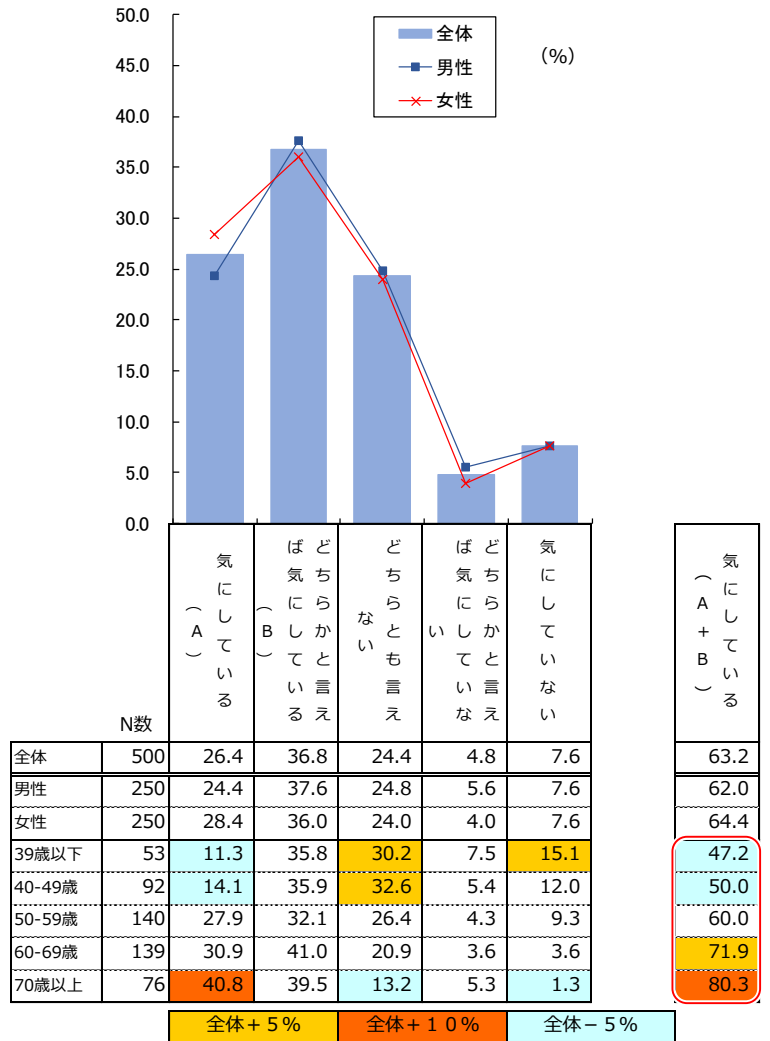
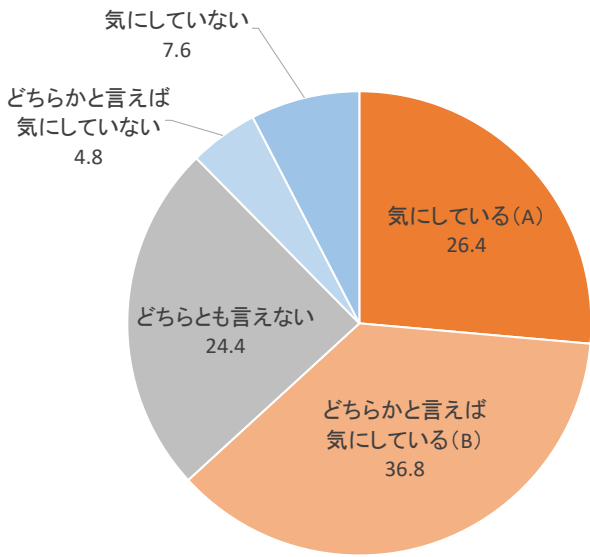
Q. 次の項目（「北海道スタイル」）のうち、あなたが実践しているものはどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

「小まめな手洗い」が8割強で最も高くなっている。次いで「3つの『密』を避ける」が約7割。男女別で見ると、「咳エチケット」など男性より女性で高くなっている項目が多い。年代別で見ると、70歳以下では「3つの密を避ける」、39歳以下では「オンラインの活用」、40代では「テイクアウトやデリバリーの利用」が高くなっている。



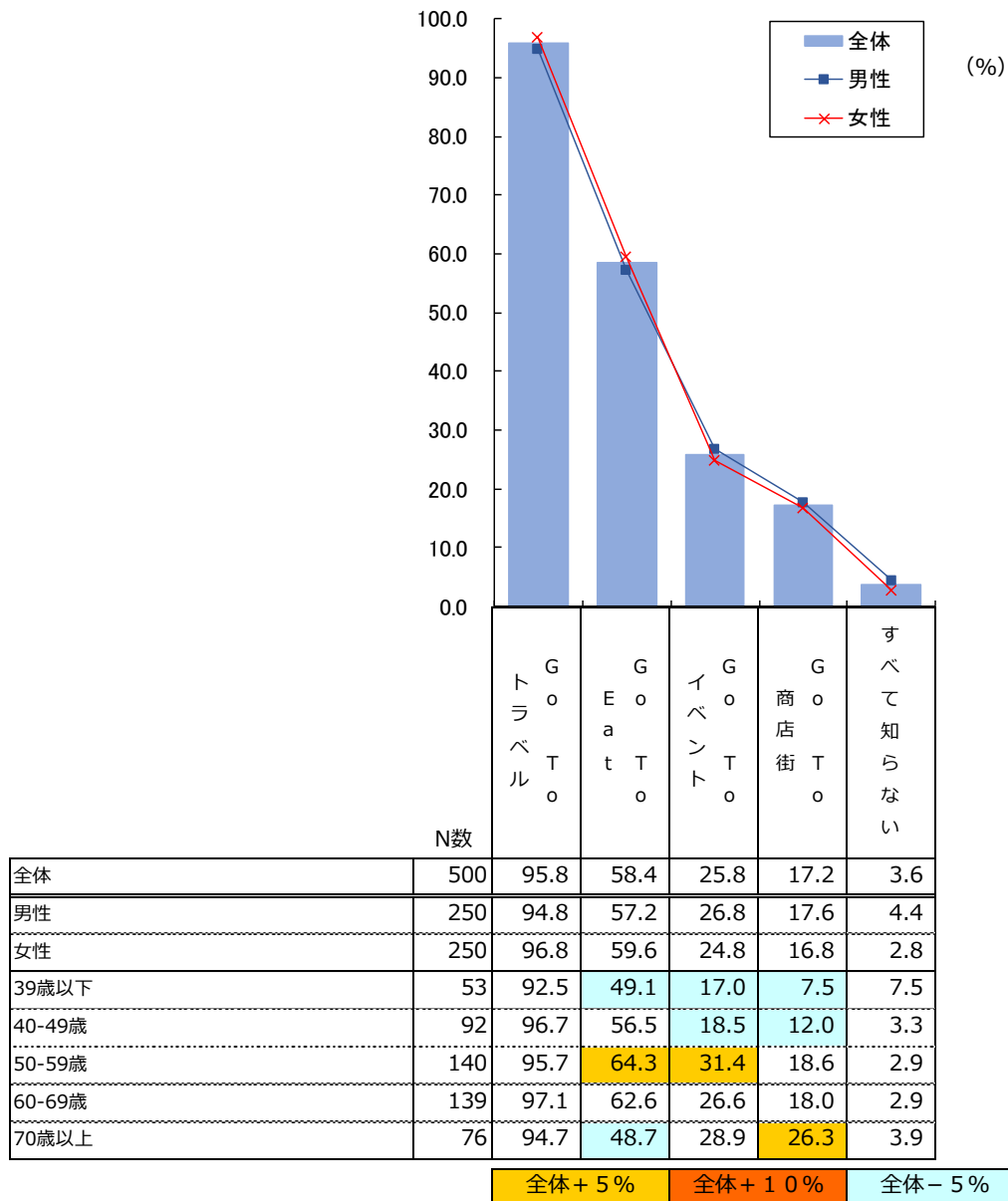
Q. あなたは飲食店などを選ぶ際に「新北海道スタイル」を実践していることを気にしていますか。

「気にしている」という方は約25%。「どちらかといえば気にしている」と合わせると約65%となる。男女別では大きな差はない。年代別で見ると、70歳以上が80%(合算)と最も高く、39歳以下では50%弱と最も低く、年代が上がるにつれてその割合も高くなっている。



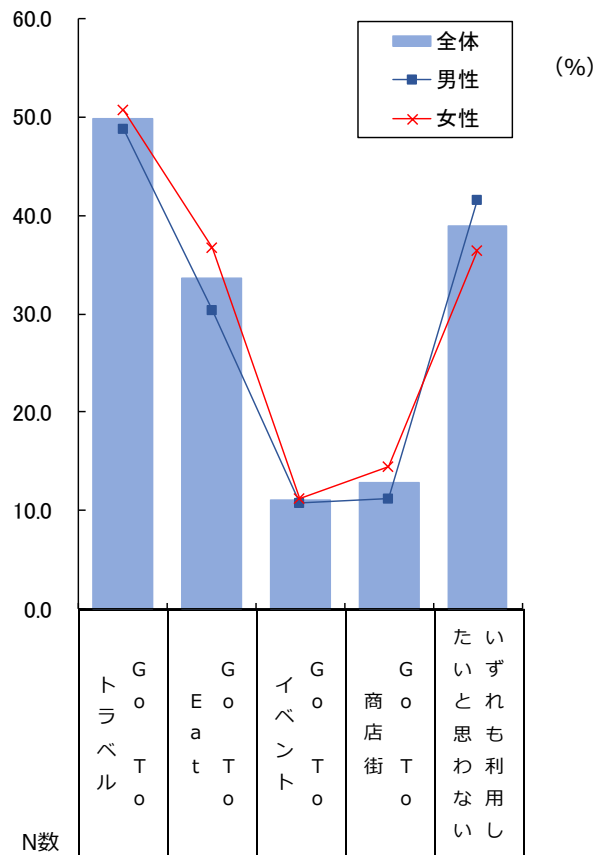
Q. あなたは「Go To キャンペーン」を知っていますか。知っているものをすべてお選びください。  
(いくつでも)

「Go To トラベル」は9割以上が知っている。次いで「Go To Eat」が約6割となっている。  
「Go To Eat」と「Go To イベント」は50代でポイントが高くなっている。



Q. あなたは「Go To キャンペーン」を利用したいと思っていますか。利用したいと思っているものをすべてお選びください。（いくつでも）

「Go To トラベル」が約5割で最も高い。次いで「Go To Eat」が約3割となっている。  
年代別で見ると、30代では「Go To トラベル」、50代では「Go To Eat」が全体よりもやや高くなっている。



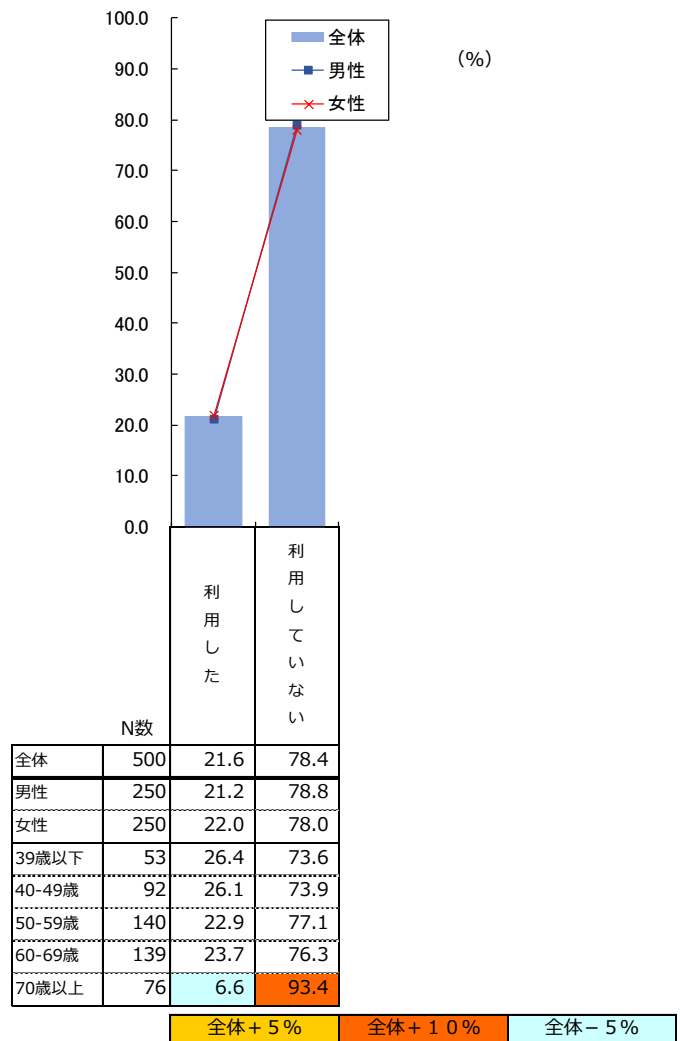
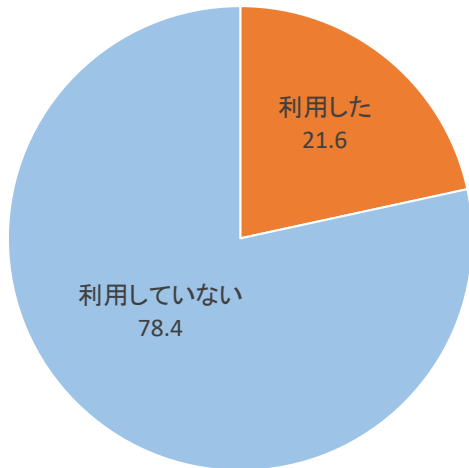
	N数	Go To Travel (%)	Go To Eat (%)	Go To Events (%)	Go To Shopping Streets (%)	Go To Anywhere (%)
全体	500	49.8	33.6	11.0	12.8	39.0
男性	250	48.8	30.4	10.8	11.2	41.6
女性	250	50.8	36.8	11.2	14.4	36.4
39歳以下	53	56.6	32.1	5.7	7.5	34.0
40-49歳	92	54.3	32.6	9.8	9.8	39.1
50-59歳	140	48.6	40.0	14.3	14.3	36.4
60-69歳	139	53.2	33.8	11.5	11.5	38.1
70歳以上	76	35.5	23.7	9.2	19.7	48.7

全体 + 5%      全体 + 10%      全体 - 5%



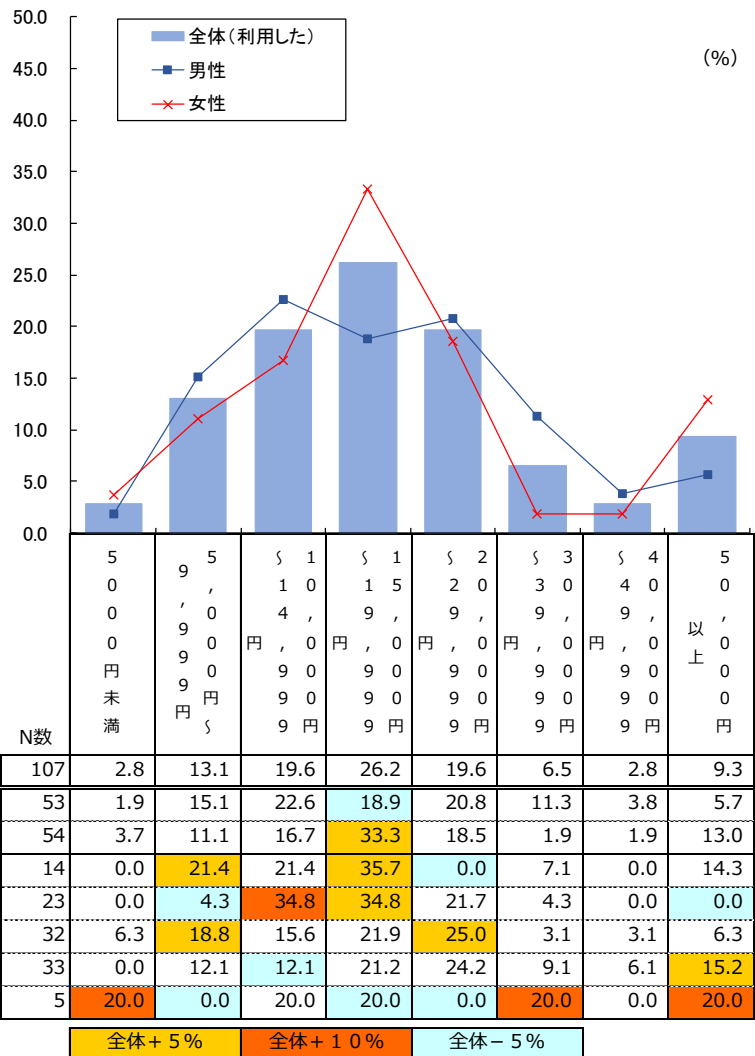
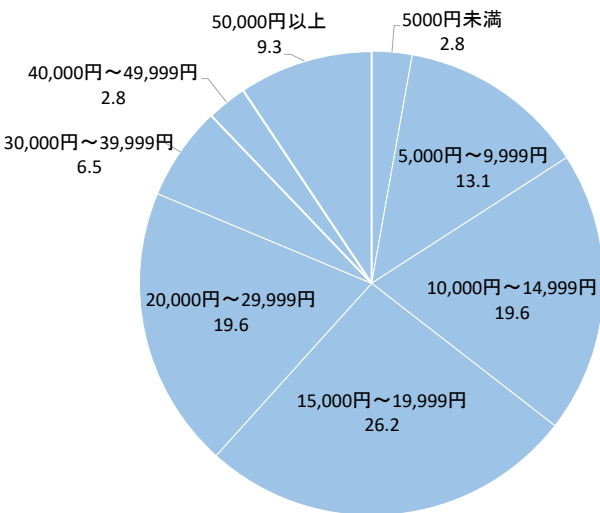
Q. あなたは「Go To トラベル」をすでに利用しましたか。

全体で約2割の方が「利用した」と回答。  
年代別で見ると、70代以上で「利用した」が全体より10ポイント以上低い。



Q. あなたは「Go To トラベル」で一人あたりいくらの旅行で利用しましたか。

全体で最も高いのは「15,000円～19,999円」となっている。  
男女別で見ると、男性より女性で「15,000円～19,999円」割合が高くなっている。

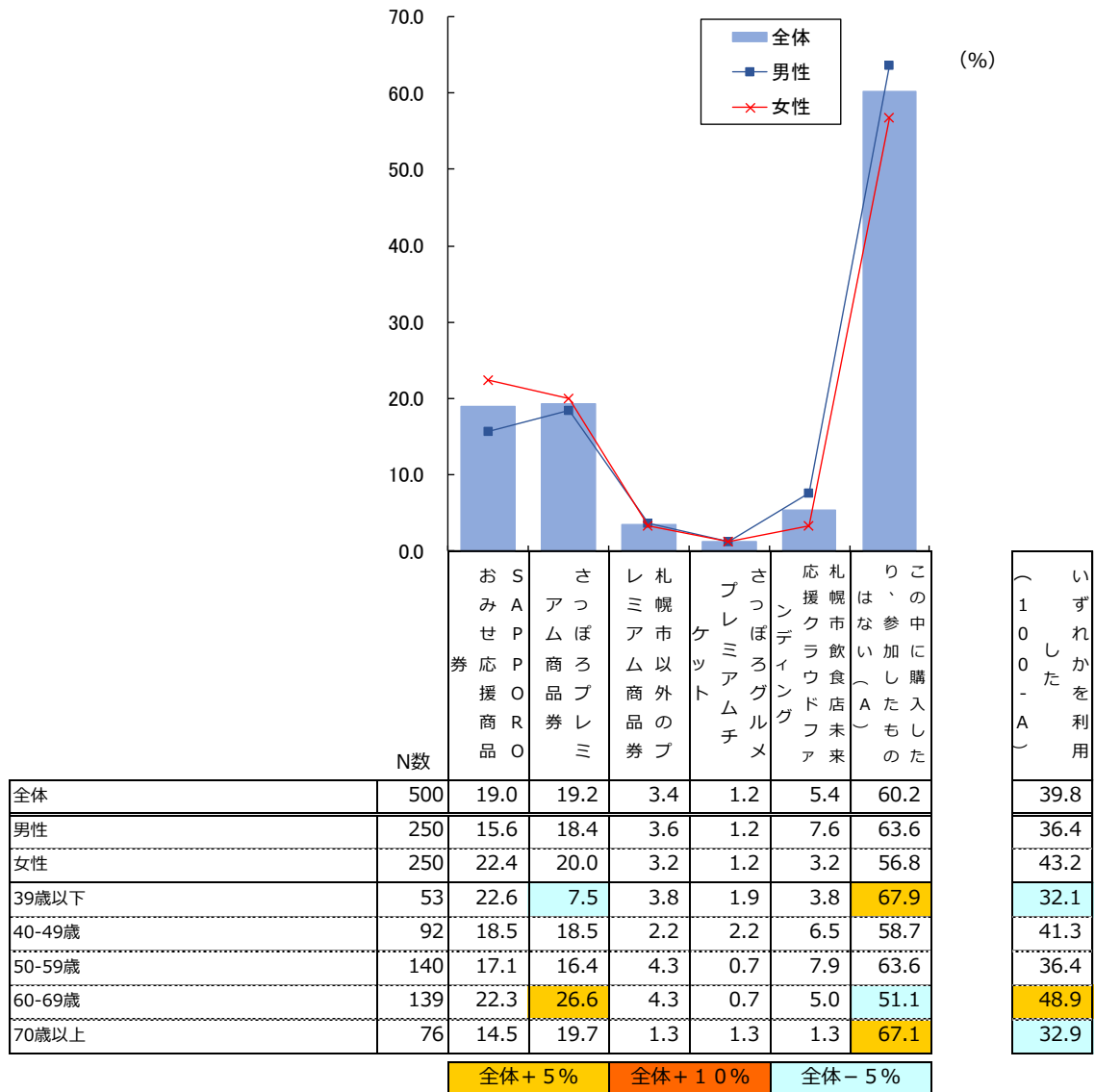


## <旅行先を選んだ理由>

- 感染者が少ない安全な場所
  - ・道外（特に東京や大阪近郊）は感染者が多いので道内旅行に限定しました。（男性70歳以上）
  - ・旧友と会うために旭川へ。感染者が少ないから。（男性60代）
- 普段は泊まらない
  - ・なかなか宿泊できないホテルだったので。（男性30代）
  - ・泊まっていたいホテルだったから（女性70歳以上）
  - ・前から泊まってみたかった宿泊施設だったから。（女性40代）
  - ・普段、行けないちょっとお高いホテルだから。（女性60代）
- 密を避けられる
  - ・部屋食、貸切風呂（女性50代）
  - ・戸建てで家族だけで泊まれるし食事も玄関の搬入口から入れ宿泊先の人とも非接触。（女性40代）

Q. あなたは次のような新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けた事業者、飲食店経営者を応援するための商品券を購入したり、クラウドファンディングに参加したりしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

最も高いのは「この中に購入したり、参加したものはなし」であるが、「さっぽろプレミアム商品券」、「SAPPOROおみせ応援商品券」は約2割が購入したと回答。  
年代別で見ると、60代ではいずれかを利用したという割合が全体より約10ポイント高い。

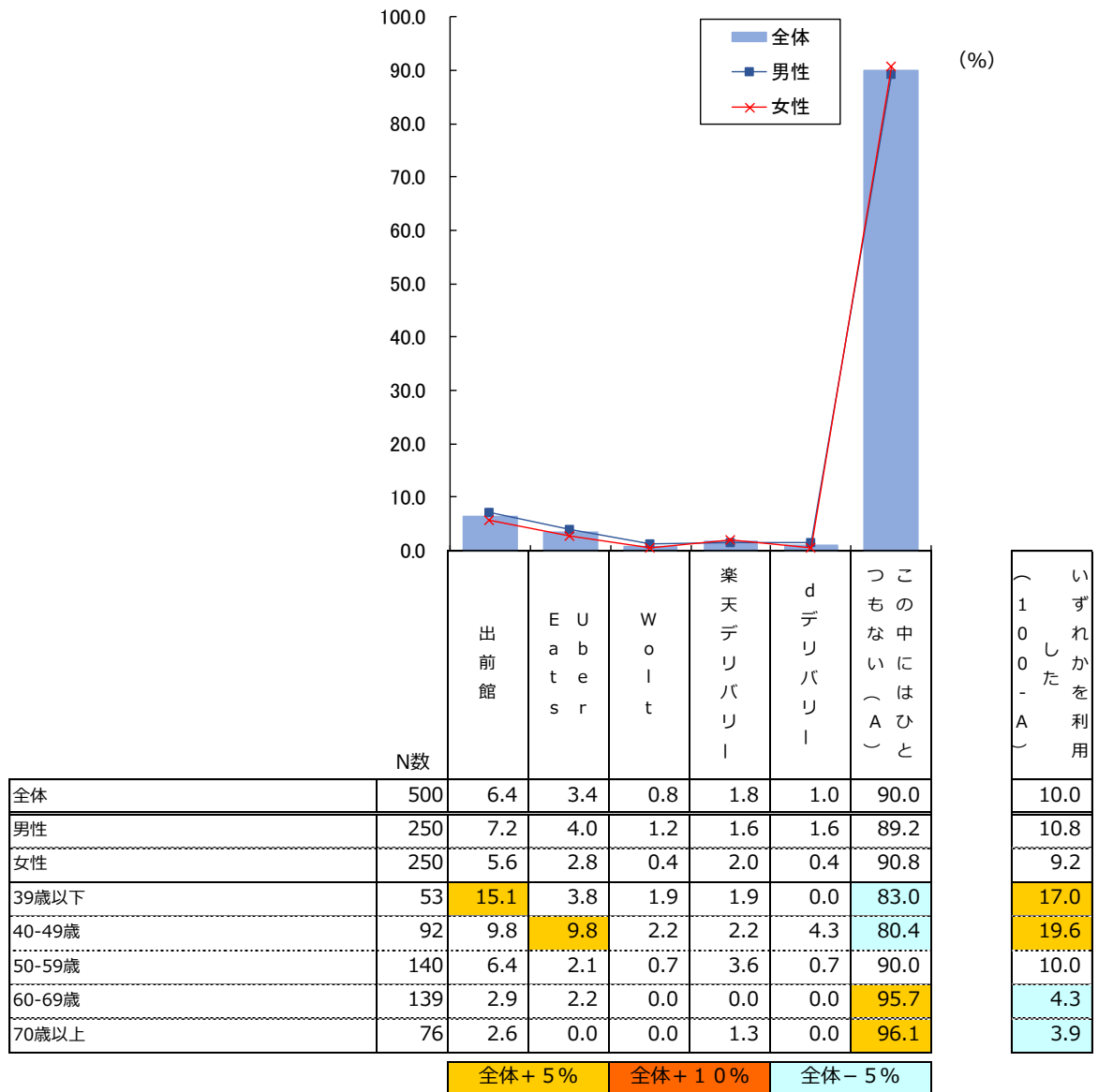


## <気になること>

- 買ったかったけど買えなかった
  - ・さっぽろプレミアム商品券は直ぐに完売で買えなかった。（女性60代）
  - ・さっぽろプレミアム商品券を買いたかったが、売り切れが早すぎて、発売翌日ですでに買えなかった。高齢者や障害者も安心して購入できる方法を考えるべきだと思う。（女性60代）
  - ・さっぽろプレミアム欲しかったけど買えなくて不公平だと思う（女性40代）
  - ・すぐに売り切れてしまった。特に子供がいて並ぶことが難しい家族には購入が難しい。（女性30代）
- CFについて
  - ・クラウドファンディングは自分の意思が反映されて良いと思う。自分は映画館に参加した。（女性60代）

Q. あなたは新型コロナウイルス流行後に次の宅配サービスを利用しましたか。あてはまるものすべてをお選びください。（いくつでも）

最も高いのは「この中にはひとつもない」である。「出前館」の6%が利用率としては最も高い。年代別で見ると、39歳以下と40代ではいずれかを利用したという割合が全体より高い。



## <気になること>

### ■配達員について

- ・Uber Eatsの配達員が、無謀な配達、信号無視などが、気になる。（男性60代）
- ・異常者配達による愉快犯や性犯罪や異物混入が怖すぎるし実際起きてるし（男性40代）
- ・運転マナーを守れてないドライバーが多い。配達ドライバーが増えて、交通事故が心配。自分が運転中に轢いてしまいそう。冬場でも自転車で移動されると困ります。（女性30代）

### ■冬のサービス

- ・北国の雪対策が心配。自転車やバイクの危険性等。（女性60代）
- ・冬の配達はどうするのか（女性50代）

本レポートに掲載されている調査結果は、

下記ご連絡の上、出典先を「インサーチ札幌」と明記の上、ご利用ください。

<お問い合わせ先>



株式会社 インサイト マーケティングプランニング部  
マーケティングプランナー 相沢 直人  
e-mail : aizawa@ppi.jp